

待ち望め、主を 詩篇 130:1-6

2022. 10. 16 丘、23 庄和 NO. 689
春日部福音自由教会 山田豊

本詩篇も、都のぼりの歌の一つとなっています。それとともに、悔い改めの詩篇の一つともなっています。

初めに「主よ、深い淵から私はあなたを呼び求めます」という言葉が、心に留まります。深い淵とは、自分の力では上ることができないほど深い底にいるように、救われがたい人生の苦難を表す言葉でしょう。そこから、神に向かって助けを求めている詩人の姿です。人間にとって最も深い淵とは何でしょうか？それは、罪という深みです。3,4節、また7,8節には、人の不義に目を留める神の救し、贖いが描かれています。詩篇130篇が語る深い淵とは、人生の苦難の人間の罪を表しているのです。

かなり前ですが、星野富弘さんの「愛、深き淵より」という本を読みました。公園のベンチに座って、一気に読んでしまった記憶があります。この本をネット検索をしたところ、次のような解説がヒットしました。

「今、もう一度振り返ってみると、深き淵には、澄んだ美しい水が湧き出ていたような気がします——。四肢の自由を失い絶望の淵にいた青年教師が、筆をくわえて綴った生命の記録。感動の輪を広げた超ロングセラーが、発刊40周年を記念して生まれ変わりました。」

ご存じの方も多いと思いますが、星野富弘さんは、群馬大学卒業後、赴任した中学校で、クラブ活動の指導中に頸髄損傷を負いました。首から下の運動機能を失ってしまうのですが、口に筆をくわえて詩を書き絵を描きはじめ、やがて教会の人たちの訪問を受けてイエスを信じてクリスチャンとなりました。深い淵に突き落とされるような経験の中で、神の愛によって、罪の深みからも救い出されたのでした。

6節には、「夜回りが夜明けを待つように」という言葉があります。朝になれば夜警というきつい任務から解放される喜びを待っているときの気持ちでしょうか、それとも新しい朝が来ることを期待する気持ちでしょうか。

「朝の来ない夜はない」とはよく言われます。希望をもって一日一日を送るようにとの、励ましの言葉です。しかし、ある方は言うでしょう、「朝を迎えることなく息を引き取ることがあるではないか、朝の来ない夜もあるのだ」と。そのように思うのも、無理からぬことです。しかし、たとい地上で息絶え、目を閉じることがあっても、罪を悔い改め神の救いにあずかっている人は、神の懐の中に目覚めることができるのです。

主なる神を待ち望む者に、朝は必ず来るのです。

引用聖句

エゼキエル 27:34 おまえが海で打ち破られ、おまえの商品とおまえの全集団が、おまえとともに海の深みに沈むとき、

詩篇 69: 2 私は深い泥沼に沈み足がかりもありません。私は大水の底に陥り奔流が私を押し流しています。

ルカ 5:8 これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して言った。「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」

ローマ 7:13

7:13 それでは、この良いものが、私に死をもたらしたのでしょうか。決してそんなことはありません。むしろ、罪がそれをもたらしたのです。罪は、この良いもので私に死をもたらすことによって、罪として明らかにされました。罪は戒めによって、限りなく罪深いものとなりました。

ローマ 8:3 肉によって弱くなったため、律法にできなくなったことを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪深い肉と同じような形で、罪のきよめのために遣わし、肉において罪を処罰されたのです。

1コリント 1:7 その結果、あなたがたはどんな賜物にも欠けることがなく、熱心に私たちの主イエス・キリストの現れを待ち望むようになっています。

1テサロニケ 1:10 御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださいるイエスです。

テトス 2:13 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています

新聖歌 222

1. 罪の深みに 溺るるわれ
尊き御名を 呼びたりしに
救いの君は 御手を伸べて
引き上げませり 愛もて
愛なり愛なり 救いうるは愛なり
愛なり愛なり 救いうるは愛なり

2. 引き上げませる 君の御手は
われを離さず 導き給う
逆巻き寄する 波の中も
恐れはあらし 主ませば
(おりかえし)

3. 主は天地の 君にませば
ひと言葉もて 静めえ給う
波風猛けり 狂う海も
悩み苦しむ たましいも
(おりかえし)